

information catch

第69回「かわさき起業家オーディション」受賞者決定

2月4日に開催された第69回「かわさき起業家オーディション」ビジネス・アイデアシリーズ市場(<http://www.kawasaki-net.ne.jp/bizidea/>)の最終選考会で、アソシエCHACO(川崎市多摩区)の栗田佐穂子代表と、企業組合アップル工房イダ(長野県飯田市)の今村忠弘代表理事が、かわさき起業家大賞(川崎市長賞)に輝いた。

川崎市産業振興財団が主催する同オーディションで、「極めて高い成長性・収益性が見込める優秀なプラン」と規定される大賞の受賞者が出たのは第61回(2009年10月開催)以来、1年4か月ぶり。表彰式では阿部孝夫・川崎市長みずから2人に賞状と盾を手渡し、健闘をたたえた。



「かわさき起業家大賞」を受賞したアソシエCHACOの栗田佐穂子代表のプレゼン風景

アソシエCHACOの栗田代表は、「着やすく・おしゃれに!ユニバーサルデザインファッションの開発と普及」をテーマにプレゼン。高齢者や体が不自由な人、病後などで療養中の人などを対象に、「着脱しやすく、おしゃれに心も癒やす衣服」を作り続けてきた実績が評価された。

同社オリジナルのユニバーサルデザイン商品である『らくらくベスト&ひざ掛け』と『着やすいボレロ&マフラー』は、川崎市独自の福祉製品の基準(KISS)の認定製品。また、片手でも楽に身に着けられる『KAWASAKIネクタイ』も、「かわさきデザインギフト」および「かわさき名産品」に認定されている。

栗田氏のプレゼンに続き、審査員の金子徳・川崎市産業振興財団サアマネージャーが、「これからはボランティアではなく、ビジネスとして頑張してほしい。ビジネスとして事業を展開するからこそ、全国や世界中の人々が必要とする商品やサービスを継続して届けること

ができる」とアドバイスする一幕も。

一方、アップル工房イダの今村代表理事は、「ビジネスとして目指す障害者の自立、美女しいだけ栽培事業による農業と福祉の活性化」をテーマに発表。

同工房では、市場競争力が高いオリジナルブランドの『美しいだけ』(商標登録済み)栽培事業を、障害者の自立に向けた就労モデル事業として確立し、全国に普及させることを目指す。「『美しいだけ』は味の良さが抜群で、『今まで、こんなにおいしい菌床しいだけ』は食べたことがない」と評価されています。現状では商販からの契約率は100%です」と今村氏はいう。

「福祉とビジネスを融合」させることで、障害者が自立して働ける場を創るという理念と、同事業の高い新規性、成長性、収益性が評価を受けた。

「かわさき起業家オーディション」は、01年からほぼ2カ月に1回のペースで実施されている。優れたビジネスアイデアに対しては、川崎市が設けている融資制度を利用した資金調達の



厳正な審査を経て、6社が主催賞を受賞した

支援、およびベンチャーキャピタル等との出会いの場の提供などを通じて、ビジネス・アイデアの実現をサポート。

川崎市内に限らず、全国から参加者を募集しているのが同オーディションの特徴で、第1回(01年11月開催)から第69回までの応募総数は1490件に達し、受賞も487件を数える。今回の主催者賞の受賞者は次の通り。

▽かわさき起業家大賞(川崎市長賞) / アソシエCHACO 栗田佐穂子氏、アップル工房イダ 今村忠弘氏
▽かわさき起業家優秀賞 / ナノデックス 服部憲治郎氏、永進テクノ 久保徹夫氏
▽かわさき起業家賞 / ニューバイオエンタープライズ 山本慎二氏
▽かわさきビジネス・アイデアシリーズ賞 / プロアイズ 吉富成一氏

企業名	ビジネスアイデアのテーマ
アソシエCHACO(川崎市多摩区)	着やすく・おしゃれに!ユニバーサルデザインファッションの開発と普及
企業組合アップル工房イダ(長野県飯田市)	ビジネスとして目指す障害者の自立、美女しいだけ栽培事業による農業と福祉の活性化
ナノデックス株式会社(神奈川県横浜市)	がん細胞へ薬を運送する新用物質の応用によるがんの治療とがん診断の事業開発
永進テクノ株式会社(神奈川県横浜市)	浮遊物・浮上油回収装置
株式会社ニューバイオエンタープライズ(岡山県岡山市)	新しい機能(α-グルコシターゼ 阻害物質含有)をもつD-G-15糖結晶を用いた商品の開発と事業化
有限会社プロアイズ(東京都港区)	貿易のコンビニサービス